

そよみがぜたより

2007
8月号

フスノマツトキヤクター?

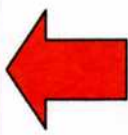
当院でスタッフが面白くて育て始めたシバフネ。

初日に水に数時間浸けながら、この位で、草が生えてくるとんたうう...と眺めていました。

次の日の朝に、まだまだたよねと覗き込むと、ひびく音が聞こえて白い物体が...

まさかまだ早いよな、と思っていたら、夕方あたりから「ジュジュジュ」と白い物体が増え...なんと、翌日には縁の部分がほとんど伸びてきた(笑)

鼻や耳にカビが付いたり、たまに変なとこから芽も出てくるけれど、それすらも愛しく思えて、毎日かわいがって育てています☆



一言メモ

クリスタルジェル



- 殺菌剤・フッ素配合のジェルタイプの歯磨剤です。
- 殺菌剤が入っているので、口臭予防や、炎症などの感染を予防し、むし歯や歯周病を広がりにくくします。
- 歯垢形成を抑制し、汚れが付着しにくい歯面にします。
- フッ素が入っているので、再石灰化を促し、むし歯になりにくい強いエナメル質を形成します。
- 歯垢や黄ばみ、ステインなどの汚れを落とし、歯面をきれいな状態に保ちます。
- オレンジ味です。

前回は、むし歯を予防する為の、歯フロシの一般的な磨き方を紹介しました。今後は、歯周病を予防する為の、歯フロシの一般的な磨き方を紹介したいと思います。



そもそも歯周病ってなに?

とびつちやも方のため、今回はまず歯周病とは何かをお伝えしたいと思います。

歯周病とは

歯の周りの組織が、破壊される病気です。

症状

初期の症状は歯肉が炎症し、腫れや出血がみられます(歯肉炎)。そのうち、歯肉の炎症がひどくなり、歯の周りの組織が破壊され、歯が揺れやすくなります。

原因

とびつちやも原因がありますが、食べ残しがお口のばい菌と一緒に歯垢や歯石・歯質負担の噛み合わせ・強度のストレス・糖尿病をはじめとした全身疾患が挙げられます。

予防・改善法

まず、予防法としてフロッシングをはじめとするお口の清掃が第一です。歯と歯肉の間、歯と歯の隙間や舌表面の歯垢菌の住処となる部分をターゲットとした清掃法が重要で、この中でも近年、舌表面の清掃が重視されています。また、末梢の血液を良くする事も大きな予防法の一つです。

次いで改善方法として、フロッシングだけでは対応できない歯石除去、噛み合わせの改善や口呼吸などが原因であるお口の乾燥を防ぐ事が歯科治療では挙げられます。歯科治療以外には、カルシウム拮抗剤(降圧剤)服用停止や糖尿病の改善が挙げられます。



今月の
スタッフ紹介
景山 万貴子 先生

院長より

8月からこちらでお世話になることとなりました、景山です。外科を専門にしています。こちらにお世話になってまだ日も浅く、まだまだ不慣れではありますが、院長先生およびスタッフの皆さんにご迷惑をかけないよう頑張りたいと思っていますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

今回は歯槽膿漏(歯周病)について簡単に纏めました。前回までにお伝えしたむし歯にしても今回の歯周病にしても原因の第一は汚れです。お口の中に存在するばい菌は歯磨きを怠ると一日で約一千億個になると言われています。お口は外界との接触が容易でさらにはばい菌が好む湿気に富むため、一挙に増殖するようです。特に汚れが深部に入れば入るほど除去しにくくなることも、空気がなくても増殖する菌(嫌気性菌)が多くなります。この菌は増殖するにも歯や歯を支える骨(歯槽骨)を蝕んで行きます。その結果、歯本来の噛む機能は基より、審美性に障害を与えます。と同時に進行すればするほど、元の機能に戻りにくくなります。これらの疾患の改善策は早期発見、治療が大切になることは当然の事であるとともに、患者様にあった予防方法を早期に見つける事が大切です。その予防方法で最も有効なものにはフロッシングです。それを皆さんのライフスタイルにうまく組み込むことが勝負かもしれません。